

第74回本試験ライティング問題 模範解答例

2021年11月20日に行われました、第74回本試験ライティング問題の模範解答を記載いたします。本試験ではライティング問題として実際にテーマに沿った文章を作成して頂きます。次回以降の本試験の参考にしてください。

【解説】ライティング問題は減点方式を採用しています。

日本クラウドソーシング検定協会ホームページの解答速報および問題例

(https://crowd-kentei.or.jp/about_test/grading/)

ではより詳しくライティング問題のルールを記載しておりますので、是非ご参照ください。

模範解答では下記の点などを守っています。

- ・キーワードは必ず文中で使用してください。
- ・記述すべきテーマから外れないように記述してください。
- ・規定された文字数を超えないようにしてください。
- ・「です・ます」「である・だ」等表記の統一を行ってください。
- ・主語、述語等は正しく使用してください。

【問.1】七五三について240文字以上300文字以内で記述してください。

*文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。

*ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。

*キーワードは必ず文章内で使用してください。

*書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】七五三は、我が子が大きくなったと感じられるイベントのひとつではないでしょうか。

キーワード1：成長

キーワード2：撮影

【模範解答1】292文字

七五三のお祝いでは、子供の成長を残すために、写真撮影するご家族を多く見かけます。出かけた先の神社で家族揃って撮影したり、千歳飴をもった子供を撮影したりと様々な撮影シーンがあることでしょうか。そんな七五三の写真ですが、最近ではフォトスタジオで撮影するご家族も増えたのではないのでしょうか。これは着物や小道具、背景に至るまで、昔と比べて趣向を凝らした写真が出来上がるのが理由として考えられます。また、せっかくの記念日にプロのカメラマンに撮ってもらえるというのも、特別感があるのでしょうか。そんな七五三の写真を子供が大きくなった時に見返すのは、家族にとって楽しみの一つとなるのではないのでしょうか。

【模範解答2】280文字

子供の成長を感じることができる行事として、七五三は外せないでしょう。この行事は、三歳、五歳、七歳の子供が対象で、神社などで子供の成長をお祝いします。またその際には、記念撮影を家族と撮ったり、千歳飴という飴を食べたりします。この七五三という行事は、私たちの人生の中でも、特に印象が残りやすい行事ではない

でしょうか。なぜなら、家族での貴重な時間を過ごすことができるからです。一般的な現代の家族は、核家族世帯が多い傾向ですので、日常的に祖父母に会う機会が少ない家庭も多くなっています。そのため、このような行事は、家族の絆を深められる良い機会と言えるのかもしれません。

【模範解答 3】 273 文字

我が子の晴れ姿を見て子どもが大きくなったことを実感できる、七五三は親御さんにとって重要なイベントです。七五三と言えば、家族や親戚が集まって**撮影**する記念写真をまず思い起こすのではないのでしょうか。**成長**した子どもの姿を見て、生まれた赤ん坊の時を思い出す親御さんも多いはずです。スマホが普及する以前はホームビデオで撮影する親御さんが多く、高額なビデオカメラを持っている親御さんもいました。しかし、最近はスマホでも動画が撮れるので、スマホで記録を残す親御さんも増えています。七五三は、現代でも家族の絆を実感できる大切なイベントであることに変わりありません。

【問.2】 牛井について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】手早くお昼ご飯を済ませようとして、牛井を選ぶ方も少なくないでしょう。

キーワード1：安い

キーワード2：テイクアウト

【模範解答 1】 283 文字

街を歩くと、牛井屋の看板をよく見かけます。牛井屋は一人でも入りやすく、忙しくて時間がない時なども、短時間で提供されるため社会人に人気なのはもちろん、色々なバリエーションの牛井も増えて、広い年齢層にも人気があります。また**安い**というのも牛井が愛される理由の一つでしょう。さらに近年、コロナ禍では**テイクアウト**ができる料理として、牛井は一段と重宝されたのではないのでしょうか。甘いたれで煮込んだ牛肉と玉ねぎをご飯の上にかけてシンプルな料理ですが、匂いからも食欲をそそる料理です。牛井は、何か食べたいと思った時に、多くの人が頭に思い浮かべる料理の一つと言えるのかもしれません。

【模範解答 2】 256 文字

食事に時間を掛けられない人にとって、牛井は手早く食事を済ませられる方法として選びやすいものです。大都市圏は牛井を専門にするチェーン店も多く、牛井以外のメニューも豊富に揃っており、レストランなどで外食するより**安い**金額で食事を済ませることができます。また、24時間営業をしているお店も多いので、特に男性や夜遅い時間に働いている人は、牛井を食べる機会も多いのではないのでしょうか。コロナ禍の影響もあり、牛井を**テイクアウト**して家で楽しむ人も増えています。おうち時間のお供としても、牛井は生活に欠かせない存在になっています。

【模範解答 3】 257 文字

牛井といえば、早く食べられて美味いいため人気があります。時間がないときに便利な食事です。今では短い時間で牛井を手軽に食べられるお店がたくさんあります。安くて早くて美味いいため、利用している人も多いでし

よう。また、**テイクアウト**を行っているお店もあるため、牛丼を持ち帰って好きなところで食べられます。短時間で食べられるうえに**安い**ので、仕事の合間や時間がないときによく活用できる便利な食事です。さらにお店で食べたりテイクアウトして職場や家で食べたりもできることもあり、牛丼は人気のあるメニューのひとつではないでしょうか。

【問.3】紅葉シーズンについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

- *文字数は下にカウントされていますのでご参照ください。
- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *キーワードは必ず文章内で使用してください。
- *書き出し例文は例文ですので、そのまま使用することは禁止です。

【書き出し例文】秋の行楽において、鮮やかな紅葉はメインイベントのひとつと言えるかもしれません。

キーワード1：名所

キーワード2：色

【模範解答 1】 296 文字

旅行で**名所**を巡るとき、行く先々の風景なども楽しみの一つです。例えば、川や山などの自然はもちろん、庭園や公園など季節ごとに違う**色**を見せてくれる風景は我々の目を楽しませてくれます。日本の四季は旅を楽しませてくれる一つの要素でしょう。同じ場所でも、季節が違えば、まったく違う印象を与えてくれるからです。なかでも日本では、紅葉シーズンが特に人気があります。鮮やかな赤やオレンジの落ち葉舞い散る紅葉は、とても儂く一層印象的です。また名所とよばれる人気スポットが多いことも紅葉シーズンの人気の理由としてあげられるでしょう。あらためて、日本各地で楽しめる紅葉の名所を旅してみるのもよいのではないのでしょうか。

【模範解答 2】 248 文字

秋の風景の定番と言えばやはり紅葉でしょう。毎年十一月くらいになると一面の緑だった景色がだんだんと変化していき、**色**鮮やかな景色を楽しむことができます。そして全国各地の紅葉の**名所**では秋になると赤や黄色が一面に広がり、観光客で賑わいます。もちろん名所だけではなく山や川沿い、寺社や庭園などこの時期ではあちこちで紅葉が見られて、和の美意識をも感じさせてくれます。日本では四季それぞれの景色を楽しむことができます。その一つである秋を存分に堪能できる、お気に入りの紅葉スポットを探してみたいはいかがでしょうか。

【模範解答 3】 265 文字

紅葉は日本の四季を感じられる景色のひとつで、各所で見ることができます。秋になり寒くなるにつれて、緑だった葉の**色**が黄色、赤へと変わっていきます。その過程で様々な色が混ざっている状態も美しいし、全部真っ赤になった状態もまた美しいです。紅葉した木々がたくさん並んでいる場所の景色は圧巻ではないのでしょうか。そして紅葉の**名所**は全国にたくさんあり、シーズンが南から北へと徐々に移動するのにあわせて全国で楽しむことができます。身近なところでも見られるところはたくさんありますが、名所の紅葉も見てみたいと足を運ばれる方も多いのではないのでしょうか。

【問.4】心地よい目覚めを迎えるコツについて 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

- *ライティング問題は、コピーアンドペーストはできません。
- *文字数は下にカウントされています。ご参考ください。

*書き出し例文を参考にして文章を書いてください。書き出し例文をそのまま使用することは禁止です。

*この問題にキーワードはありません。自由に記述してください。

【書き出し例文】 前日疲れていても、翌朝目覚めがすっきりしているとその日は元気に過ごせるのではないでしょうか。

【模範解答 1】 370 文字

心地よい目覚めを迎えるには、睡眠の質が重要です。睡眠の質を高めるには、いくつかのコツがあります。まず、眠りにつく 1 時間半ほど前に、ゆっくりと入浴するのがおすすめです。忙しくてシャワーで済ませるといいますが、疲労回復のために湯船に浸かるとよいでしょう。お風呂の適度な温度は、38 度から 40 度程度です。リラックスできる香りの入浴剤を使うと、より心を休めることができます。また、寝る前にスマートフォンを見ることは、できるだけ控えましょう。スマートフォンの画面から出ているブルーライトが影響して自律神経が乱れ、睡眠の質を下げてしまいます。さらに、寝具が自分の体に合っているか、確認してみたいかがでしょうか。枕の形やマットレスの硬さが合っていないと、よく眠れないことがあります。寝る前の習慣と自分に合った寝具を見直し、爽やかな朝を迎えてください。

【模範解答 2】 381 文字

活力をもって一日を過ごすためにも、心地のよい目覚めというのとはなくてはならないものです。寝起きが悪く一日を無気力に過ごしてしまった、という経験をされたことがある方も多いのではないのでしょうか。気持ちのよい朝を迎えるうえで最も重要なのはまず、夜更かしをしないことです。布団にもぐってから暗い部屋でついスマートフォンを見てしまう、といったことはやめてしっかりと眠り、朝目覚めたらまずカーテンをあけて部屋が明るくなるようにしましょう。また、朝にシャワーを浴びると刺激によって頭をすっきりさせることができるので、おすすめです。さらに寝ている間に下がった体温を上げ、寝汗も流すことができさっぱりした気分となれるため、一石二鳥といえるでしょう。いずれにせよ、朝の目覚めがよければ日中の活力も大きく変わります。皆さんも自分に合った目覚めで快適な朝を迎えてみてはいかがでしょうか。

【模範解答 3】 358 文字

朝の目覚めはその日を決定づけると言っても過言ではないでしょう。例えば、朝起きた時に疲れや眠気が取れていないと、その日のパフォーマンスは低下してしまいます。そして目覚めを良くするためには上質な睡眠が必要不可欠です。質の良い睡眠をすることで、体の疲れが癒されるので結果的に目覚めが良くなるのです。具体的な改善案としては自分に合った寝具を整えると言うことが挙げられます。たとえ高価な寝具であっても、自分の体格に合っていないければ疲れは取れるどころか、逆にたまる可能性もあります。でも近年はオーダーメイドの枕やマットレスといった寝具を比較的安価に手に入れることができます。体の大きさや形を計測し、自分専用の寝具をつくるので、現在使用している寝具が自分に合っていないと感じるのであれば、一考してみたいかがでしょう。

ライティング問題-総評-

第74回WEBライティング技能検定 本試験を受験頂いた皆様、お疲れ様でした。

ここでは今回の第74回WEBライティング技能検定 本試験 ライティング問題の総評をお伝えいたします。

今回の本試験では、4択問題において満点、または満点に近い得点の方がほとんどでした。4択問題は引き続き満点を目指す気持ちで学習を続けて下さい。

実技のライティング問題では、クラウドソーシング上では納品物として承認され難く試験上でも大きく減点対象となる内容（例えば主観的な表現や違うテーマの文章など）が見受けられた他、同様な表現の繰り返し、誤変換や誤入力、短い文章の連続、助詞の使用法や誤字など細かいミス、文章表現として不自然さが感じられるものが目立ちました。今回惜しくも不合格となってしまった方は、本協会より案内しております解答速報、総評、また教材などをご参考にライティングスキル向上を目指し、学習に励んで下さい。

ライティング問題の総評では、より細かく、一部の方の解答を参考にしてご説明いたします。

まだライティングに自信がない方もライティングに自信がある方も総評を参考に学習して頂ければ幸いです。

*今回受験頂いた方の中から主な減点対象を抜粋して総評に加えさせて頂いております。

実技 ライティング問題の個別解答に対する減点箇所

問1 七五三について240文字以上300文字以内で記述してください。

キーワード1：成長 キーワード2：撮影

【解答例1】

「神社や写真館などでは七五三の衣装を身にまとった子供たちの撮影風景がよく行われています。」

上記解答例では、表現のねじれが見受けられ、違和感があります。

【修正例1】

「神社や写真館などでは七五三の衣装を身にまとった子供たちの撮影がよく行われています。」

この文章においては「撮影風景」が行われているという表現になっております。しかし実際に行われるのは「撮影」であり、撮影風景を行うという表現は相応しくないため、文意を鑑みて修正いたしました。文中に表現のねじれが生じてしまうと、読者に違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。なお、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例2】

「したがって、七歳まで無事に成長したと言うことは奇跡に近いことで喜ばしい事だったので。」

上記解答例では1つの文章中に「こと」「事」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 2】

「したがって、七歳まで無事に成長したと言うことは奇跡に近いことで喜ばしい**こと**だったので。」

上記修正例では、ひらがな表記に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 3】

「日本古来の儀式なので、**仕切りが高い**印象があります。」

上記解答例では、「仕切りが高い」が誤入力となります。

【修正例 3】

「日本古来の儀式なので、**敷居が高い**印象があります。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「敷居が高い」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤入力が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「七五三と言えば千歳飴をもらえることが子供にとっては嬉しいの**ではないでしょうか**。昔は神社の前で写真撮影していましたが、今は写真館で撮影する方も多**いのではない**でしょうか。」

上記解答例は、同様の表現を繰り返してしまっております。

【修正例 4】

「七五三と言えば千歳飴をもらえることが子供にとっては嬉しい**のではない**でしょうか。**また**昔は神社の前で写真撮影していましたが、今は写真館で撮影する方も多**いのではない**でしょうか。」

上記修正例では、文意を鑑みて、繰り返し表現にならないよう接続詞の追加を行いました。同様の表現を繰り返してしまうと、読者に読み難さを与えかねませんので注意しましょう。

またこのような事は文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「こと昔の日本において七五三**へ**捉え方はより切実だったようで、」

上記解答例では、助詞の使い方に誤りがあります。

【修正例 5】

「こと昔の日本において七五三の捉え方はより切実だったようで、」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

問 2 牛井について 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : 安い キーワード 2 : テイクアウト

【解答例 1】

「私たちの食生活は手軽にとっても重視されてきています。」

上記解答例では、表現のねじれが見受けられ、違和感があります。

【修正例 1】

「私たちの食生活は手軽に、しかしとても重視されてきています。」

上記修正例では、この文章における主語である「私たちの食生活」に対してかかるその後の文章が正しく繋がるよう、文意を鑑みて表現を整え、自然な形で修正いたしました。文中に表現のねじれが生じてしまうと、読者に違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。なお、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例 2】

「例えば牛井は、手軽に食べられるという点ではとても人気が高い食べ物です。」

「働く人々のランチの時間は、牛井屋はいつも満員になっており、仕方なくテイクアウトする方も多いですね。」

上記解答例は、口語表現と文語表現が混在する文章です。

【修正例 2】

「働く人々のランチの時間は、牛井屋はいつも満員になっており、仕方なくテイクアウトする方も多いです。」

上記修正例では「多いですね」の口語表現を「多いです」という文語表現に修正し、併せて文意を鑑みて修正を行いました。このように口語表現と文語表現が混在してしまうと、場合によって読者に違和感を与えてしまうので注意しましょう。

【解答例 3】

「それには素早く提供できる料理であることが強みであると**私は考えます**。」

上記解答例は 「私は考えます」という主観的な表現がみられます。時に「私は●●です」「●●だと思います」のような表現は筆者の意見が強くなり感想文のような内容になってしまいます。またそのような文章はクラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くありますので、主観的な表現を使わないように注意しましょう。

【解答例 4】

「注文してから食事が出てくるまでの時間が短いですし、値段も安いので、仕事の休憩時間に利用する方もいます。**また**テイクアウトもできるので、家や職場に持ち帰って楽しむこともできます。」

上記解答例では、文と文の間に適切な接続詞が使用されておられません。

【修正例 4】

「注文してから食事が出てくるまでの時間が短いですし、値段も安いので、仕事の休憩時間に利用する方もいます。**また**テイクアウトもできるので、家や職場に持ち帰って楽しむこともできます。」

上記修正例では、接続詞「また」を追記いたしました。適切な接続詞を用いることでその前後の文章が繋がり、読みやすい文章になります。読者にとって読みやすい文章を心がけるようにしましょう。

【解答例 5】

「牛井は、老若男女問わず好きな食べ物として**上がる**メニューの一つです。」

上記解答例では、「上がる」が誤変換となります。

【修正例 5】

「牛井は、老若男女問わず好きな食べ物として**挙がる**メニューの一つです。」

上記修正例では、誤変換を修正しました。「挙がる」が正しい表現となります。特に WEB ライティングでは誤字脱字、誤変換が起りやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤変換だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

問 3 紅葉シーズンについて 240 文字以上 300 文字以内で記述してください。

キーワード 1 : 名所 キーワード 2 : 色

【解答例 1】

「有名な紅葉スポットとして挙げられるのが京都府の禅林寺や、茨城県の花貫溪谷などあります。」

上記解答例では、表現のねじれが見受けられ、違和感があります。

【修正例 1】

「有名な紅葉スポットとして挙げられるのが京都府の禅林寺や、茨城県の花貫溪谷など**です。**」

この文章においては、紅葉スポットとして挙げられる場所を示す内容になっているので、「などあります」ではなく「です」のほうがふさわしいです。そのため文意を鑑みて表現を整え、自然な形で修正いたしました。文中に表現のねじれが生じてしまうと、読者に違和感を与えてしまう文章になりますので、注意しましょう。なお、書き終えた文章を見直すだけでもこのようなミスを減らすことができます。

【解答例 2】

「10月頃からの紅葉は**とても綺麗で緑色から赤や黄色へ色が変わる現象が**とても神秘的です。」

上記解答例は、読点が適切に使われていないため読み難い文章となっております。

【修正例 2】

「10月頃からの紅葉は**とても綺麗で、**緑色から赤や黄色へ色が変わる現象がとても神秘的です。」

上記修正例では、適切な場所に読点を加える形で修正しました。読点は適切に使用すると読者にとって読みやすい文章となりますので、上手く使うよう心がけましょう。

【解答例 3】

「秋の山を**登ると**とても気分よく心身ともにリフレッシュできるでしょう。」

上記解答例は、助詞が不足しているため文意が伝わり難い文章となっております。

【修正例 3】

「秋の山を登る**と、**とても気分よく心身ともにリフレッシュできるでしょう。」

上記修正例では、文意を鑑みながら助詞「と」及び読点を自然な形で追記修正しました。このようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 4】

「秋になると紅葉が各所で**みられます。**」

「身近なところでも**見られる**ところはたくさんありますが、」

上記解答例では1つの文章中に「みられます」「見られる」のように異なる表現が混在しております。

【修正例 4】

「秋になると紅葉が各所で**見られます。**」

上記修正例では、「見られます」と漢字表記に統一しました。同一の文章内に表記ゆれが混在すると、読者に読み難さや違和感を与えてしまいますので注意しましょう。またこのようなものは文章作成後の見直しを行うことで軽減できます。文章作成後は見直しを行うようにしましょう。

【解答例 5】

「**過ごしやすい季節になってきました。秋の行楽シーズン到来です。秋は紅葉のシーズンとも言われています。**」

上記解答例は、短い文が連続した表現となっております。

【修正例 5】

「**過ごしやすい季節になってきました。秋の行楽シーズン到来で、紅葉のシーズンとも言われています。**」

上記修正例では文意を鑑みながら、3つの短文を2文にまとめる形で修正いたしました。

短文での表現は、文章に勢いを付ける意味では有効ですが、主語が抜けた表現などとなり口語（話し言葉）に近い表現となってしまいます。また、このような表現は試験では減点対象となっておりますので、短文表現はあまり使わないように注意しましょう。

問 4 心地よい目覚めを迎えるコツについて 320 文字以上 400 文字以内で記述してください。

キーワード なし

【解答例 1】

「心地よい目覚めを迎えるためのコツとして、**①夕食は眠る 3 時間前までに済ませておく。②眠る前にカフェインは摂らない。③湯船に浸かってリラックスする。④スマホやパソコンは眠る直前まで見ない。**などがあります。」

上記解答例は、箇条書きとなっております。

箇条書きでの記載は、見た目はスッキリしていますが、文章としては内容が薄くなってしまいがちです。そのため、クラウドソーシングサイトで承認を得られないことも多くあります。

そして試験でも大きな減点対象となっておりますので、箇条書きではなくしっかりと文章を作成するよう心がけましょう。

【解答例 2】

「そのあと時間があればシャワーを**浴びたり**、バランスのよい朝食を食べるなどすれば健康的で快適な朝といえるのではないのでしょうか。」

上記解答例では、一文の中に並列を表現する「～たり」が一度のみしか使用されていません。

【修正例 2】

「そのあと時間があればシャワーを浴びたり、バランスのよい朝食を**食べたりする**などすれば健康的で快適な朝といえるのではないのでしょうか。」

上記修正例では、「～たり」を2回使用し、また文意を鑑みながら自然な形に修正しました。

特にWEBライティングでは誤字脱字が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 3】

「その原因は様々ありますが、過度な残業や夜更かしの影響が**高い**ではないでしょうか。」

上記解答例では、「高いではないでしょうか」が誤入力となります。

【修正例 3】

「その原因は様々ありますが、過度な残業や夜更かしの影響が**高い**の**で**はないでしょうか。」

上記修正例では、誤入力を修正しました。「高いのではないのでしょうか」が正しい表現となります。特にWEBライティングでは誤字脱字、誤変換が起こりやすいので、一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤入力だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

【解答例 4】

「私たちは毎朝生きる希望を持ち目覚める生活を**繰り返しています**長い人生の中で、毎日が心地よく目覚めることができればとても幸せなことではないでしょうか。」

上記解答例は、句点が適切に使われていないため読み難い文章となっております。

【修正例 4】

「私たちは毎朝生きる希望を持ち目覚める生活を繰り返しています。**。**長い人生の中で、毎日が心地よく目覚めることができればとても幸せなことではないでしょうか。」

上記修正例では、文意を鑑みて本来句点を使用されるべきところに加える形で修正いたしました。句点や読点が適切に使われていない文章は読者へ読み難さを与えてしまいますので注意が必要です。

【解答例 5】

「いつも決まった時間**に**布団**に**入れば、自然**に**起きる時間もばらつきがなくなっていきます。」

上記解答例は、一文に助詞である「に」が多用された文章です。

【修正例 5】

「いつも決まった時間に布団に入れば、自然**と**起きる時間もばらつきがなくなっていきます。」

上記修正例では、文意を鑑みて助詞を調整し、文章を修正いたしました。助詞の使い方を誤ると、本来伝えたい内容が上手く読者に伝わらなくなってしまうので注意しましょう。

また一度作成した文章は見直しを行うことをおすすめいたします。見直しを行うことで誤字脱字だけでなく、文章が不自然になっていないかなどを確認することもできます。

実技 ライティング問題の総合的な減点箇所

今回受験頂いた方の内、惜しくも不合格となられた方々に共通する減点箇所としては、**助詞の連続使用や使い方**、**句点読点の使い方**、**誤字脱字**や**誤変換**、**同様表現の繰り返し**、**表現のねじれ**などが多く見受けられました。

そして、**主観的な文章表現や文脈的に不自然さを感じさせる内容は、読者に読み難さを与えてしまうだけでなく、クラウドソーシング上でも非承認となりやすい文章となります。特に文章中の主語は何なのか、が不明確になると不自然さが強くなってしまいますので注意しましょう。**

また、**指定キーワードが使われていなかったり、文章の内容が指定テーマから逸脱したりすると大幅な減点となります。なので、文章作成後、一度読み返して指定テーマについてしっかりと書かれているか確認するようにしましょう。**

他にも一文に情報を詰め込み過ぎしまうと、**助詞の連続使用**など意図しないミスが多くなることがあります。ライティングを終えた際には文章の見直しを行い、誤った表現や意味が通り難い文章の有無などを確認するようにしましょう。